学校だより 5 月

令和8年 4月30日
板橋区立桜川小学校
No.2

“桜川　学びのエリア：桜川中・桜川小”

輝く新緑のように

校長　　和田　幹夫

新緑の美しい季節となりました。学習にも、運動にも絶好の季節です。太陽に向かって力いっぱい葉を広げ、伸びていく木々の姿は、日々、成長していく子どもたちの姿を感じさせます。また、美しい新緑も一枚一枚の葉を見ると、その色や形は皆同じようで、少しずつ違っています。違うからこそ、深みが出て美しいのだと思います。これも、様々なよさや個性をもっている子どもたちと同じだと思います。

さて、新年度が始まりまだ一か月足らずですが、元気な声ですすんで挨拶をする姿、一年生に優しく接する姿、当番や係、委員会などの活動に積極的に取り組む姿、すすんで発言をしたり練習問題に取り組んだりする姿など、前向きな姿が様々な場面で見られます。1年生も、短い期間にもかかわらず、朝の支度、給食の片付け、一人での下校などできることも増えてきました。平仮名や数の学習も始まっています。

このような成長の基には、一人ひとりのやる気とがんばりがあります。それとともに、「かかわり」が大きな要素の一つになっていると思います。まわりの友だちのがんばりが自分を勇気づけ励ましてくれます。また、友だちや先生、保護者の皆様の賞賛や励ましも大きな力となっています。学校生活でも様々な「かかわり」を大切にしています。

この一か月の間にも様々なかかわりがありました。6年生は1年生のお世話やクラブ・委員会活動など、下学年の子どもたちと接することを通して、最高学年としての自覚を高め、それを通してその役割を果たす喜びを感じていると思います。5年生は、高学年として委員会活動に6年生と共に取り組むことを通して、意欲と責任をもって活動を始めています。4年生は、外国語活動の時間、英語で友だちと自己紹介をし合い、交流を深めていました。私にもたくさんの4年生が自己紹介をしてくれました。3年生は、理科の学習でアオムシの観察をしています。先日は、さなぎから羽化をしたチョウを逃がしたそうです。観察活動を通して、生命の力強さや不思議さを実感していることと思います。2年生は、1年生を案内する学校探検に向けて、様々な教職員に積極的にインタビューをしています。校長室にも来て、校長の仕事や私の思いなどについて、たくさん質問をしてくれました。上級生としての高い意欲が伝わってきました。そして、1年生も、先日の1年生を迎える会、あたたかく迎えてくれた上級生の姿から、自分たちが大切にされていることを感じ取ってくれたのではないかと思います。

新しい友だちや先生、新たな立場でのかかわりも、子どもたちを大きく成長させています。よりよく人とかかわるには、相手のことを大切に思う気持ちが大切です。相手の話をしっかりと聞く。あいさつややさしい言葉遣いをする。心や身体を傷つけることは絶対に言わない、しない。このことを子どもたちも、私たち大人も大切にし、これからも、かかわりを深め、みんなが安心して学校生活を送り、共に支え合い高め合っていくことができるよう、教職員一同力を尽くしてまいります。保護者、地域の皆様も引き続き、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

なお、今週から大型連休が始まっています。４月からの緊張やがんばりの疲れが出たり、気持ちがふとぬけたりする時期でもあります。ぜひ、子どもたちの様子に心を配り、温かく見守っていただけますようお願いいたします。

(保護者向けリーフレット「『どうしたの？』ー声をかけてみませんか～子供の不安や悩みに寄り添うために～」(東京都教育庁指導部・地域教育支援部)をご参照ください。本校ホームページ、配布物：学校だより内に掲載しています。)

お世話になります

4月20日（月）の全校朝会で本校の「スクールガード・子ども見守り隊」「学童擁護員」の皆様をご紹介しました。見守り隊には、地域にお住まいの26名の方が登録をしてくださり、子どもたちの登下校の安全を見守ってくださいます。いつも、緑色のベストを着ていらっしゃいます。子どもたちには、挨拶でお礼の気持ちを届けてほしいと思います。保護者の皆様にも、お会いした際には、ぜひ、感謝のお言葉を伝えてくださいますようお願いいたします。